

令和4年 3月30日

（あて先）熊本市長

団体名 NPO 法人 KP5000

代表者 職名 代表理事

原田 文子



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和3年4月1日付け指令（地活）第1-13号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交

付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業
ホープ・ルーム（心の回復を支える学びの場）

2 助成事業の実施期間

令和3年年4月1日～令和4年3月25日

3 助成事業の内容

障害当事者（ピアカウンセラー等）と支援者が協同し、メンタルヘルスに関する研修を開催した。

障害当事者が、本来持っている自己回復能力を高めるリカバリーに関することや、様々な精神保健サービスの紹介などを中心に取り組み、メンタルヘルスに関する市民講座を開催する予定であったが、コロナウイルス感染拡大のためZOOMでの開催となった。

4 事業の成果

令和3年4月から令和4年3月までに（令和3年7月31日、8月28日、令和4年2月19日、3月19日、合計4回開催）4回にわたってZOOMによる勉強会（専門職の情報・当事者の体験）を行った。

ZOOMという形で開催したことによって外出困難な方がご参加されたり、勉強になった。という声を頂き引き続き参加したいとの声も多くいただいた。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費	0	
当該事業による収益	0	
当該事業に対する寄附・協賛金	0	
その他の自己資金	38,000	
当該事業に対する助成金額	33,000	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合 計	71,000	

◆支出決算(事業別)

事業名 支出費目	事業1	事業2	事業3	合計
	ホープルーム(心の回復を支える学びの場)			
人件費	27,000			27,000
報償費	30,000			30,000
旅費	0			0
人件費等合計【A】	57,000			57,000
役務費	0			0
使用料・賃借料	0			0
事務・消耗品費	0			0
委託費	14,000			14,000
合計	71,000			71,000

助成申請上限額(助成種別:ステップアップ助成)

$$〔事業費 71,000 - 控除額【E】 21,500〕 \times 2/3 = 33,000$$

※控除額…超過人件費(人件費等の合計が事業費の1/2を超えた部分)

とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	57,000	➤	超過人件費【C】※	21,500
事業費の1/2【B】	35,500		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	21,500		控除額【E】	21,500

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業1〔ホープ・ルーム（心の回復を支える学びの場）〕

人件費	スタッフ人件費@3,000 x 4 人 x 1 回、3,000 x 3 人 x 1 回、3,000 x 1 人 x 2 回
報償費	講師謝金@5,000 x 1 人 x 2 回、5,000 x 2 人 x 2 回
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	チラシデザイン料@1,000 x 4 回 ホームページ運営管理費@10,000 x 1 回

事業2〔 〕

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

事業3〔 〕

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

別紙 (1)

事業報告書

実施年度	令和3年度
事業名	くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 ホープ・ルーム（心の回復を支える学びの場）
事業期間	令和3年4月1日～令和4年3月25日
事業の目的	近年、メンタルヘルスへの関心は高まり続けているが、市民がメンタルヘルスについて学ぶ機会は限られている。また、精神障害を抱えた当事者が一市民として社会に受け入れられ、活躍する機会は未だ少ない現状である。メンタルヘルスについて誰もが学び合える場所を、当事者と共に作り上げることで、メンタルヘルスに関する正しい知識の普及啓発を図ると共に、当事者がいきいきと地域で働き・暮らしていくことができる社会を築いていくことを目的とする。
具体的な 事業内容	第1回「リカバリーについて」 7/31 ZOOM 開催 専門職による精神医学的な観点からリカバリーについての解説、当事者によるリカバリーの体験談（参加人数：6名） 第2回「就労について」 8/28 ZOOM 開催 専門職による就労に関する社会資源の提供、実際に就労している当事者の体験談やアドバイス（参加人数：7名） 第3回「ストレスとは・わたしのお薬」 2/19 ZOOM 開催 専門職によるストレスが脳や心に与える影響などについての説明、当事者による薬との付き合い方やストレス解消方法（呼吸法）を参加者と体験する（参加人数：7名） 第4回「お金と生活」 3/19 ZOOM 開催 専門家による精神疾患を患った方が生活に困った時に相談できる所等の情報提供、ピアカウンセラーによる年金と生活の実際についての体験談（参加人数：7名）
実施場所	ZOOM によるオンライン開催
協力団体	特になし
事業の効果 ・公益性	福祉施設や医療機関等、どこにも所属していない障害者や家族が参加し社会とつながる場所となる。また、市民の精神障害への理解が深まり、メンタルヘルスが向上され、精神疾患発症の予防や差別・偏見の軽減につながる。ZOOM 開催によって気軽に誰でも参加でき知識が得られる。
次年度以降の 事業展望	リカバリー講座を受講した当事者が主役となって活躍できる機会をつくる（ピアカウンセラーとして、メンタルヘルス講座を開催する等）。また、障害当事者とともに、こころの不調や障害について気軽に相談できる居場所をつくる。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	障害当事者と支援者が一緒になって、障害やメンタルヘルスについて学び・語り合う場所をつくっていく。その居場所を通して、障害者が支えられるだけでなく、誰かを支える市民となって暮らすことのできる街づくりを目指していきたい。